

社会人が科目等履修生(単位認定)、聴講生(単位認定なし)として受講できる科目の一覧です。
申込期限・手続き方法等については、下記を参照のうえ、各大学へお問い合わせください。

2022年度 教育ネットワーク中国 単位互換(科目等履修生・聴講生)受入科目

科目No	大学名	科目名	開講期間	開催方法	科目等履修生	聴講生
0605	県立広島大学	地域情報発信論	8/29～9/1	対面	○	○
0607		中国社会文化論	9/30～11/18	対面	○	○
0608		多文化共生教育論	9/27～11/17	対面 オンライン(同時・録画)	○	○
0609		米国社会文化論	11/25～2/3	対面	○	-
0905	比治山大学	対照言語学	9/27～1/17	対面	○	-
0906		日本考古学	9/29～1/12	対面	○	-
1101	広島経済大学	金融論Ⅰ《金融のしくみと基礎知識》	4/15～8/8	対面	○	○
1108		金融論Ⅱ《金融と日本経済》	9/30～2/1	対面	○	○
1111		メディアビジネス特論【中国新聞寄付講義】 《新聞を通じて社会を知る》	9/30～1/20	対面	○	○
1402	広島工業大学	データベース	4/7～7/21	対面	○	○
1411		学外研修(グローバルSDGsとDX)	10/1～1/7	対面	-	○
1801	広島修道大学	国際ビジネスコミュニケーションⅢ	4/13～7/27	対面	○	-
1802		国際社会学A	4/12～7/26	対面	○	○
1804		科学技術社会論	4/11～7/25	対面	○	○
1805		社会統計学入門	4/13～7/27	対面	○	○
1808		平和学	6/6～7/28	対面	○	-
1809		国際ビジネスコミュニケーションⅣ	9/21～1/25	対面	○	-
1810		教育哲学	9/20～1/24	対面	○	○
1813		民法総則	9/22～1/26	対面	○	○
1815		集団力学	9/19～11/17	対面	○	○
2005	広島市立大学	NPO論	4/14～7/28	オンライン	○	○
2006		中国文化論Ⅰ《中国の動物観》	4/11～7/25	対面	○	○
2009		平和と人権B(現代世界と人権)	10/6～1/26	調整中	○	○
2011		広島の産業と技術	10/3～1/30	調整中	○	○
2012		地域再生論	10/3～1/30	調整中	○	○
2013		中国文化論Ⅱ《歴代中国文化と日本》	10/3～1/30	調整中	○	○
2102	広島大学	原価計算論	4/8～7/2	対面	○	○
2103		ミクロ経済学	4/11～8/1 7/21(木)授業日	対面	○	○
2106		マーケティング論Ⅰ	4/14～8/4 5/2(月)授業日	対面	○	○
2114		瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習	8/9～8/12 3泊4日	対面	○	○
2116		Blue Growthを目指したオーダーメイド洋上演習	9/1～9/3 2泊3日	対面	○	○
2125		金融論	10/3～2/6 1/12(木)授業日	対面	○	○
2129		地域協力論	10/7～2/3	対面	○	○
2401	広島文教大学	書写書道演習	4/12～8/2	対面	○	○
2402		認知症の理解Ⅰ	4/11～8/1	対面	○	-
2404		経済学の基礎	4/13～8/3	対面	○	○
2405		モチベーション心理学	9/30～2/10	対面	○	○
2701	呉工業高等専門学校	福祉工学	後期(調整中)	対面	○	○

社会人 科目等履修・聴講生 手続き方法

県立広島大学	https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/38/15-research.html
比治山大学	https://www.hijiyama-u.ac.jp/general/study-system.html
広島経済大学	https://www.hue.ac.jp/entrance/f3huum00000002fa-att/kamokutou2022.pdf
広島工業大学	https://www.it-hiroshima.ac.jp/career/lecture/subject/application/
広島修道大学	https://www.shudo-u.ac.jp/kouryuu/kamokutou.html
広島市立大学	https://www.hiroshima-cu.ac.jp/guide/content0012/
広島大学	https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/sembatsu/kamokurisusei
広島文教大学	担当課(学生サポート課 TEL:082-814-9995、e-mail:gakusapo@h-bunkyo@h-bunkyo.ac.jp)まで直接お問い合わせください。
呉工業高等専門学校	https://www.kure-nct.ac.jp/research/k_r.html

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

0605

科目概要記入欄

1. 開設大学	県立広島大学		開催 方法	■対面（サテライトキャンパスひろしま）		
	□オンライン（同時・録画・資料提示）					
	□その他（ ）					
	正式科目名 副題	地域情報発信論		配当年次	2-4 年	
				受入学年		
	学問分野	番号	41	名 称	複合系 教養	
3. 担当教員名	広谷大助, 藤井宣彰, 吉田倫子, 伊藤俊 他					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 8 月 29 日（月）～ 2022 年 9 月 1 日（木） 10：00～17：00（日によって終了時間は多少前後する）					
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	新聞で報じられた地域の情報を素材として、新聞の読み方、取材対象の見方、記事作成の手法を学ぶとともに、新聞情報の分析を通じて地域の諸問題を掘り下げていく。 テーマ（2021 年度はコロナ禍後を考える：まちづくりの観点から）に沿った記事を読み、課題を設定した上で、現地へ出向いて取材し、意見交換を経て記事をまとめるなど、地域情報の受信・発信の方法を学ぶ。さらに、グループで課題解決への提案をまとめ、ポスター発表を行うことを通じて議論を深める。 授業の流れは概ね次のとおり（一部変更の可能性あり）。 事前課題：試読期間（7 月下旬予定）に配付された新聞を読み、記事を選んで概要をまとめ、意見を述べる 第 1 日：オリエンテーション、事前課題の確認、新聞の読み方 第 2 日：取材計画、写真撮影・取材実習（フィールドワーク） 第 3 日：グループ討議、記事風レポート作成・発表 第 4 日：ポスター制作、ポスター発表、振り返り討議 事後課題：授業で学び得たことを踏まえて、新たな課題を発見し、レポートをまとめる					
11. 試験・評価方法	課題レポート（50%）及びグループ討議、ポスター発表を含む、授業への参加度（50%）で評価します。なお、事前課題・事後課題を含む全ての課題レポートが提出されていない場合には単位が出ません。					
12. 別途負担費用	試読期間中の新聞購読代金（200 円（40 円×5 日）の予定）及びフィールドワーク中にかかる入場料等の費用					
13. その他特記事項	本科目は基本グループで作業やフィールドワーク等を行うため、4 日間全ての出席が必須となります。よって、1 日でも出席できないことが予め分かっている場合には受講は避けて下さい。事前課題につきましては担当教員から受講者へ別途直接連絡します。					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☑		否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			☑		否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

0607

科目概要記入欄

1. 開設大学	県立広島大学		開催 方法	■対面（広島キャンパス）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	中国社会文化論			配当年次 2 年
学問分野	番号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員名	上水流久彦				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期前半 第3クォーター		
6. 開講期間 曜日・時間	2022年9月30日（金）～ 2022年11月18日（金） 金曜日 13:00 ～ 16:10				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	中華世界として台湾を取り上げます。同じ中華世界にあっても中国（中華人民共和国）と台湾はその社会システム、政治・経済システムは異なります。アメリカと中国との間でも台湾は重要な場所となっています。しかし、高校までに台湾を知る機会はかなり限られています。そこで台湾社会に関する基本的な事項（中華民国と台湾、台湾のジェンダーとセクシャリティ、国際社会における台湾、台湾の経済、台湾の先住民、台湾の文学と映画など）について学びます。 また、授業後半では、台湾に関わることを紹介するホームページ SNET 台湾 (https://www.snet-taiwan.jp/) を活用して、台湾を知る、台湾に学ぶ、台湾と交わるという観点から高校生の台湾への修学旅行プログラムを作成してもらいます。 講義もありますが、レジュメ発表やグループ討議が中心です。				
11. 試験・評価方法	文献に基づくレジュメ作成（一回）、修学旅行案及びレポート				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

0608

科目概要記入欄

1. 開設大学	県立広島大学		開催 方法	■対面（ 広島キャンパス）	
				■オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	多文化共生教育論			配当年次 2 年生
				受入学年 2～4 年生	
	学問分野	番号	11	名 称	文化・文学
3. 担当教員名	植村広美				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後・前 第3クォーター	
6. 開講期間 曜日・時間	2022年9月27日（火）～ 2022年11月17日（木） 火曜日・木曜日 いずれも 13:00 ～ 14:30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	抽選	
10. 科目内容・ 授業計画	地球次元での貧困、環境、人口、人権、貧困、開発、平和など、たくさん問題が私たちの目の前にある。地球上にあるこのようなさまざまな問題は、相互に深く関わりあっており、物事の相互の繋がりをホリスティックに見ることが問題解決の必要条件となっている。 この授業では、まず地球規模の諸問題がどのように繋がりがあい、どのような視点で捉えていけばよいのかを具体的な例から学ぶ。その上で、近年、途上国から先進国への人の移動が活発化する中、日本における多文化共生のあり方について欧米諸国との比較の観点から考察を行う。				
11. 試験・評価方法	レポート課題、学期末筆記試験				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	なし				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			㊦	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			㊦	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

0609

科目概要記入欄

1. 開設大学	県立広島大学		開催 方法	■対面（広島キャンパス）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	米国社会文化論		配当年次	2 年
			受入学年		
学問分野	番号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員名	栗原武士				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後・後 第4クォーター		
6. 開講期間 曜日・時間	2022年11月25日（金）～ 2023年2月3日（金） 金曜日 9：00 ～ 12：10				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	授業のテーマ及び到達目標 (1) 現代アメリカの多文化主義をテーマに、文化的多様性の世界基準を学ぶ (2) アメリカおよび日本の文化的相違・共通点についてリサーチ・発表し、多様な学生間の意見交換を通して、自らの考え方・感じ方を相対化する視点（異文化コミュニケーションの基礎的スキル）を身につける (3) アメリカ社会・文化・歴史について基礎的な知識を身につける 移民の国であるアメリカは多様な価値観が共存する多文化主義先進国であるといえます。本講義では現代アメリカの文化的コンテンツの考察を通して人種・ジェンダー・階級という観点からアメリカにおける多文化主義の基礎を学び、文化的多様性の重視に関する世界的な基準を学びます。取り上げる主な作品は以下のとおりです。 映画『テルマ&ルイズ』 映画『イーザー・ライダー』 サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』 映画『大統領の執事の涙』 ウォーカー『カラー・パープル』 映画『ノマドランド』 マッカーシー『すべての美しい馬』				
11. 試験・評価方法	授業でのコメント・ミニレポート（30%）、グループ発表（20%）および定期試験（50%）				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	なし				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	☒

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	0905
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	比治山大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	対照言語学			配当年次 2 年次
	受入学年				
学問分野	番号	12	名 称	外国語学・言語学	
3. 担当教員名	佐々木 淳（現代文化学部 言語文化学科 教授）				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 27 日（火）～ 2023 年 1 月 17 日（火） 火曜日 9 : 00 ～ 10 : 30				
7. 基礎知識の有無	①. 「基礎知識を必要とする科目」 （基本的な英語学・日本語学を受講していることが望ましい）				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	第 1 回：イントロダクション：対照言語学の目的 第 2 回：英語と日本語の音韻体系 第 3 回：英語と日本語の音のまとまり：音節とモーラ 第 4 回：英語と日本語のアクセントとイントネーション 第 5 回：派生形態論 第 6 回：英語と日本語の複合語 第 7 回：文の構造：情報構造 第 8 回：文の構造：視点 第 9 回：認知言語学概説 第 10 回：カテゴリー化とプロトタイプ 第 11 回：メタファーとメトニミー 第 12 回：イメージ・スキーマ 第 13 回：ピジン・クレオール 第 14 回：英語と日本語の構文 第 15 回：まとめ				
11. 試験・評価方法	グループワーク（30%）、授業内課題（20%）、確認テスト（50%）で評価します。				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	資料は配布します。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 0906

科目概要記入欄

1. 開設大学	比治山大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	日本考古学		配当年次	2 年次
			受入学年		
	学問分野	番号	11	名 称	文化・文学
3. 担当教員名	安間 拓巳（現代文化学部 言語文化学科 教授）				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 29 日（木）～ 2023 年 1 月 12 日（木） 木曜日 9 : 00 ～ 10 : 30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	第 1 回 考古学とは 第 2 回 旧石器時代の考古学① 第 3 回 旧石器時代の考古学② 第 4 回 考古学の方法 第 5 回 縄文時代の考古学① 第 6 回 縄文時代の考古学② 第 7 回 環境考古学 第 8 回 弥生時代の考古学① 第 9 回 弥生時代の考古学② 第 10 回 古墳時代の考古学① 第 11 回 古墳時代の考古学② 第 12 回 年代測定の方法 第 13 回 奈良・平安時代の考古学① 第 14 回 奈良・平安時代の考古学② 第 15 回 考古学と現代社会 第 16 回 まとめ				
11. 試験・評価方法	参加状況（10%）および期末試験（90%）の成績により総合的に判断します。				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	適宜資料を配付します。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	☒

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1101

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島経済大学 経済学部		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	金融論 I 金融のしくみと基礎知識			配当年次 受入学年
学問分野	番号	23	名 称	経済学	
3. 担当教員名	福居 信幸・経済・特任教授				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 15 日（金）～ 2022 年 8 月 8 日（月） 金曜日 14：45 ～ 16：15				
7. 基礎知識の有無	②「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	人		9. 選考方法		
10. 科目内容・ 授業計画	＜科目内容＞ 金融とは何か、金融に関する基礎的なしくみを学びます。まず、貨幣の機能や金融市場の全体像を概観したうえで、銀行、証券会社などの金融機関の業務や商品の概要を学ぶとともに、それぞれの金融機関が抱える課題について考察します。次に、株式市場、債券市場、外国為替市場、投資信託市場のしくみや概要を学ぶとともに、これらの現状と課題について考察します。そして、日本銀行の役割やその金融政策の変遷と課題を考察します。毎回授業の最後に、当日の講義内容を踏まえた課題を出し回答を求め、次週の授業の冒頭で各自の回答傾向や解答例などを解説します。また、授業外のレポート提出を第 14 回授業日（予定）までに 1 回求めます。 ＜授業計画＞ ①オリエンテーション・金利とは何か、②貨幣の機能と種類、③金融市場の分類、④銀行の預金・為替業務の概要、⑤銀行の貸出業務の概要、⑥非預金取扱機関の概要、⑦中間まとめ、⑧証券の種類と証券会社の業務の概要、⑨証券取引所の概要と銀行業界及び証券業界の課題、⑩株式市場の現状と課題、⑪債券市場の現状と課題・外国為替市場の基礎的なしくみと変動要因、⑫投資信託とそのしくみと現状、⑬日本銀行の役割と金融政策手段、⑭日本銀行の最近の金融政策と課題、⑮後半まとめ				
11. 試験・評価方法	定期試験 60%、課題レポート 25%、受講態度等 15%として総合的に評価します。出席日数が 3 分の 2 に満たない場合は、原則として、定期試験の受験を認めません。受講態度等は出席状況等により評価され、特に 11 回以上の出席は 1 回ごとに 1 点が 100 点満点の外枠で加点されます。また、毎回授業終了時に与えられる課題に対する優れた回答には加点があります。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1108

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島経済大学 経済学部		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	金融論Ⅱ 金融と日本経済		配当年次	2
			受入学年	2 年次以上	
	学問分野	番号	23	名称	経済学
3. 担当教員名	福居 信幸・経済・特任教授				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 30 日（金）～ 2023 年 2 月 1 日（水） 金曜日 14：45 ～ 16：15				
7. 基礎知識の有無	②「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	人		9. 選考方法		
10. 科目内容・ 授業計画	＜科目内容＞ 金融論Ⅰの内容を踏まえて、家計、企業、政府の金融行動の理論と実態を学び、金融と経済全体の動きとの関係を理解します。特に、資金循環表のしくみを学び、日本の金融構造の変容を考察します。さらに、平成バブルとその後の平成金融危機の経緯を踏まえ、金融の機能不全がどのように実物経済に影響を与えるかを学びます。最後に、金融監督規制の重要性を学んだうえで、今後の金融システムのあるべき姿を展望します。毎回授業の最後に、当日の講義内容を踏まえた課題を出し回答を求め、次週の授業の冒頭で各自の回答傾向や解答例などを解説します。また、授業外のレポート提出を第 14 回授業日（予定）までに 1 回求めます。 ＜授業計画＞ ①オリエンテーション、②家計の貯蓄行動、③家計の資産選択理論、④企業の投資決定理論と資金調達方法、⑤企業の資金調達理論と現状、⑥政府の国債発行と財政赤字、⑦資金循環表のしくみと見方、⑧中間まとめ、⑨日本の金融構造の特色と変容、⑩平成バブル崩壊と金融システム危機、⑪世界金融危機と欧州債務危機、⑫金融機能の高度化～金融派生商品と証券化商品～、⑬金融監督規制、⑭日本の金融システムの将来像、⑮後半まとめ				
11. 試験・評価方法	定期試験 60%、課題レポート 25%、受講態度等 15%として総合的に評価します。出席日数が 3 分の 2 に満たない場合は、原則として、定期試験の受験を認めません。受講態度等は出席状況等により評価され、特に 11 回以上の出席は 1 回ごとに 1 点が 100 点満点の外枠で加点されます。また、毎回授業終了時に与えられる課題に対する優れた回答には加点があります。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 1111

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島経済大学 メディアビジネス学部		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	メディアビジネス特論 《中国新聞 寄付講座 新聞を通じて社会を知る》		配当年次	2
			受入学年	2	
学問分野	番号	27	名 称	その他	
3. 担当教員名	山田 哲敬、外部講師：中国新聞社 伊藤 一亘、河端 真由、亀川 和典				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 30 日（金）～ 2023 年 1 月 20 日（金） 金曜日 13：00～14：30				
7. 基礎知識の有無	②「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	【内容】 毎朝の新聞は、国内外のニュースを掲載し、現代史を刻み続けます。当日の朝刊を用い、新聞の読み方、文章術、編集技法などを学びます。大学が重視する 21 世紀に貢献する広い教養の養成に資するとともに、主権者としての自覚を促すため、現代社会の課題と向き合います。 【授業計画】 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 新聞の第 1 面を探索 第 3 回 新聞編集の技法 第 4 回 記者の文章術 第 5 回 見出しの世界 第 6 回 記者が語る①広島経済 第 7 回 記者が語る②広島のスポーツ 第 8 回 現代社会の課題①SDGs と広島 第 9 回 現代社会の課題②コロナ禍と広島 第 10 回 現代社会の課題③ジェンダーと広島 第 11 回 まわし読み新聞をつくろう①グループワーク 第 12 回 まわし読み新聞をつくろう②発表 第 13 回 新聞の編集技法を用いて「自分新聞」をつくる①制作 第 14 回 新聞の編集技法を用いて「自分新聞」をつくる②発表と相互批評 第 15 回 NIE タイムと、まとめレポート				
11. 試験・評価方法	定期試験は実施しない 2 回のレポート提出と、グループワークへの参加度を総合的に評価				
12. 別途負担費用	教材費（新聞代 40 円×10 日分＝ 400 円）				
13. その他特記事項	毎日、新聞に目を通してください。新聞が社会にどんな影響を及ぼしているかについて、考えるきっかけとなります。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			㊦	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			㊦	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料提示）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1402
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島工業大学 情報学部		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	データベース		配当年次	2 年次
			受入学年	-	
	学問分野	番号	35	名称	Ⅲ 自然科学系
3. 担当教員名	永田 武（情報工学科 教授）				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 7 日（木）～ 2022 年 7 月 21 日（木） 木曜日 13：15 ～ 14：55				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	【科目内容】 多様で膨大な情報を効率よくデータベース化することは現在の情報科学にとっても重要な要素である。本講義では、データベースシステムの基礎的内容から、現在広く採用されている「リレーショナルデータベース」に関する内容を中心に修得する。また、データベースシステムに関する内容は情報処理試験に頻出しているため、その内容についても理解する。 【授業計画】 （1）データモデリングに関して、データベース管理システム（DBMS）がサポートする代表的なデータベースモデルについての理解を深める。 （2）リレーショナルデータベースに関して、リレーショナルデータベースのデータ構造、整合性制約、データ操作についての理解を深める。 （3）SQL に関して、リレーショナルデータベースに対する標準データベース言語である SQL についての理解を深める。 （4）物理的データ格納方式に関して、情報の物理的データ格納方式に対する理解を深める。 （5）障害回復に関して、各種障害と対策に対する理解を深める。				
11. 試験・評価方法	試験の成績（70%）、レポート（30%）から総合的に評価する。				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	ノート PC を持参して下さい				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			☒	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1411

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島工業大学 工学部		開催方法	■対面（サテライトキャンパスひろしま）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	学外研修 （グローバル SDGs と DX）		配当年次	3 年次
			受入学年	3 年次以上	
学問分野	番号	26, 42	名称	社会科学系の情報、国際関係	
3. 担当教員名	村上 修二（電気システム工学科 教授） 福島 千晴（機械システム工学科 教授）				
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 1 日（土）～ 2023 年 1 月 7 日（土） 土曜日 13:00 ～ 16:30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<u>授業の目的</u> SDGs は、平等で豊かなグローバル社会と技術革新を実現する指針として、私たちの活動を推進する原動力となっている。また、DX は進化するデジタル技術を用いて人々の生活を改善するために、多くの企業で事業戦略の核となっている。 本講義では、SDGs を達成するための様々な取り組みを学び、グローバル化、DX による技術革新、そして情報・データがもたらす新しいビジネスを理解することで、持続的な社会の成長をもたらす技術者としての基礎力を身に付ける。 <u>授業計画</u> 本講義は、「持続可能なグローバル社会づくり」、「産業とまちづくりの技術革新（DX）」、「情報・データによる事業展開」そして「海外現地研修」の4部で構成される。また、講義は座学に偏らず、講師及び受講者を交えた討論や、グループワークなどの体験的な演習などを取り入れながら、知識を身に付ける。海外現地研修では、海外に事業展開をしている企業ならびに現地の大学を研修場所として作業体験および職員や学生との意見交換を行う。				
11. 試験・評価方法	最終課題、授業中における討論への参加態度及びグループ課題への取り組みなどを総合して評価する。				
12. 別途負担費用	海外現地研修プログラム（約1週間）の渡航費用及び現地での生活費については自己負担となる。				
13. その他特記事項	講義はサテライトキャンパスひろしまで実施する。 講師等の都合により、講義内容や担当者、授業順が変更となる場合がある。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1801
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	国際ビジネスコミュニケーションⅢ			配当年次 受入学年
学問分野	番号	12	名称	外国語学・言語学	
3. 担当教員名	ROUAULT, Gregory T.				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 13 日（水）～ 2022 年 7 月 27 日（水） 水曜日 10:45 ～ 12:15				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 (Intermediate English, CEFR B1, TOEIC 550+) 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	This task-based course (taught in English) focuses on creating a “real-life” communication environment in the classroom. Students simulate being interns at a new technology company where they work alone, in pairs, and in small groups to perform realistic workplace and business-related tasks. The goal is to develop communication skills, (rather than grammatical accuracy) through meaningful tasks. 第1回 ガイダンス WELCOME ABOARD – Your first day on the job 第2回 THE DREAM TEAM – Meeting your team, Water cooler chat 第3回 THINK OUTSIDE THE BOX – Creative inventions 第4回 THE PRODUCT PROPOSAL – Elevator speech 第5回 CALL THE SHOTS – Take charge in new product analysis 第6回 A TEAM DECISION – Product review memo 第7回 KNOW YOUR MARKET – Project briefing report & Focus Group Surveys 第8回 Poster presentation & Business Case Simulation Intro 第9回 ANALYSIS AND REPORT – Analyze Focus Group results 第10回 GET THE WORD OUT – Media messaging 第11回 PREPARE A VIDEO COMMERCIAL – Explaining solutions to a problem 第12回 BRINGING IT ALL TOGETHER – Team tasks w/ Business Case Simulation 第13回 THE MAIN EVENT – Ad campaign presentations and peer feedback 第14回 DON'T SELL YOURSELF SHORT – Meetings and discussions 第15回 THE INTERVIEW – Face-to-face communications Students are expected to prepare out of class by completing homework tasks, working on the stages of their projects, case simulation, & reviewing & previewing lessons.				
11. 試験・評価方法	Grades will be based on: Business communication video 10%, Poster presentation 15%, Marketing research project & report 25%, Ad campaign & presentation 20%, Speaking tasks (meetings & interviews) 15%, Participation 15% (self, peer, & teacher eval).				
12. 別途負担費用	“Widgets Inc: A task-based course in workplace English” Benevides & Valvona Atama-ii Books, 2018. ISBN: 978-194-11-4000-0 englishbooks.jp 税抜 3,100 円				
13. その他特記事項	http://www.widgets2.com/				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1802

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	国際社会学 A		配当年次	2・3・4
			受入学年	2・3・4	
学問分野	番号	25	名 称	社会学・社会福祉学	
3. 担当教員名	高田 峰夫				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 12 日（火）～ 2022 年 7 月 26 日（火） 水曜日 13:05 ～ 14:35				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	数 人	9. 選考方法	多数の場合のみ書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	現代はグローバル化の時代と言われて、すでに久しくなります。グローバル化は、まさに国際社会学の中心的なテーマですが、他方、非常に広範な現象でつかみどころがないようにも見えます。この授業では、グローバル化の中の高等教育の普及（とりわけ途上国における）、教育グローバル化、英語の広がりとの関連、に焦点を当てます。それらを詳しく検討することで、グローバル化の一側面が見えてくるでしょう。 扱うトピックは、教育を中心にしますが、国家から消費まで多岐に渡ります。幅広いトピックに目配りする柔軟な姿勢で授業に臨んでください。 授業計画（アウトライン、変更の可能性あり）： 1. 導入、2. 国際社会学、3. 高等教育人材、4. 途上国と高等教育、5. 先進国の人口減少、6. 経済自由化と教育、7. 新しい教育プログラム、8. トウニングと英語、9. インターナショナルコース、10. 英語、11. MOOC、12. AI の影響、13. デジタル化と限界、14. 私たち、15. まとめ				
11. 試験・評価方法	小レポート（約 20%）、映像資料を見て記述・提出するメモ（各回 3 点、約 30%）、期末試験（約 50%、レポートで代替の可能性アリ）				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	なし				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			㊦	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			㊦	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1804
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）		
	□オンライン（同時・録画・資料提示）					
	□その他（ ）					
	正式科目名 副題	科学技術社会論		配当年次	1・2・3・4	
				受入学年	2・3・4	
	学問分野	番号	35	名 称	自然科学系の情報	
3. 担当教員名	宮川 卓也					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 11 日（月）～ 2022 年 7 月 25 日（月） 月曜日 10:45 ～ 12:15					
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	若干名		9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	本講義は、現代社会における科学技術のあり方をどう考えるべきか、そもそも科学技術とは何か、「科学が問うことはできても科学が答えられない」複雑な事例に対して私たちはどう向き合うべきか、などの問題群を取り上げ、科学技術と社会の関係について様々な事例から考える。 第1回 イン트로ダクション 第2回 科学リテラシー(1): 「科学を知る」ということ 第3回 科学リテラシー(2): 科学技術と社会・文化 第4回 科学と専門性(1): 科学者とは何か 第5回 科学と専門性(2): 新型コロナウイルスの問題性 第6回 科学的根拠(1) 水俣病 第7回 科学的根拠(2) 福島原発と被曝調査 第8回 科学とリスク: 遺伝子組換え食品と科学的リスク 第9回 科学と不確実性(1) 地球温暖化問題と科学的事実 第10回 科学と不確実性(2) 福島原発事故 第11回 科学と民主主義(1) 原発の所在 第12回 科学と民主主義(2) 「核のゴミ」と民主主義 第13回 科学と市民(1) アスベスト 第14回 科学と市民(2) パナナと日本人 第15回 新情報化社会					
11. 試験・評価方法	レポート(20%×3)、期末試験(40%)					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項	大人の分別をもって授業に臨むこと					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☑	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			☑	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1805
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（本学）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	社会統計学入門			配当年次 受入学年
学問分野	番号	27	名称	Ⅱ 社会科学系 その他	
3. 担当教員名	松川 太一				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 13 日（水）～ 2022 年 7 月 27 日（水） 水曜日 9：00 ～ 10：30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（四則演算ができることを求める）				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	【授業の概要・学習の到達目標などは広島修道大学 Web シラバスで確認を】 第1回 ガイダンス：量的調査の全体像 第2回 データと変数 第3回 変数の分布と中心 第4回 変数のばらつき 第5回 クロス集計表 第6回 平均値の比較と相関係数 第7回 原因と結果の考え方 第8回 3重クロス集計表 第9回 量的変数の分析 第10回 母集団と標本の関係 第11回 推測統計学の基礎と統計的推測 第12回 統計的検定の考え方 第13回 さまざまな分析 第14回 調査票の作成（1）：質問を作成する際の注意点 第15回 調査票の作成（2）：質問の配置に関する注意点、調査倫理 定期試験				
11. 試験・評価方法	定期試験（60%）、授業への取り組み（40%）を総合的に評価する。				
12. 別途負担費用	テキストとして神林博史・三輪哲，2011，『このとおりやればすぐできる社会調査のための統計学』技術評論社（ISBN:9784774146805、本体価格 1,980 円）を利用				
13. その他特記事項	資料配布、課題提出等に Moodle を利用する予定である。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1808

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	平和学		配当年次	2・3・4
			受入学年	2・3・4	
学問分野	番号	22	名称	政治学	
3. 担当教員名	佐渡 紀子				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期後半		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 6 月 6 日（月）～ 2022 年 7 月 28 日（木） 月・木曜日 9：00 ～ 10：30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ② 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	（募集人数を超えた場合）書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	【科目内容・授業計画】 本講義では、平和学における、平和に対する考え方を修得することを目指す。そのために本講義では、まず、平和の発祥とその背景を取り上げる。ここでは武力紛争が重要なテーマとなる。そのうえで、平和学の発展過程をたどりながら、平和学が何を平和への脅威としてとらえてきたのかを示す。具体的には、貧困（格差）、環境破壊、人権問題などである。これらの学びを通じて、平和への脅威に対する平和学の考え方とその意義を、共有する。なお、本講義は、参加者間での意見・情報共有の機会をもちながら、進められる。 【学習の到達目標】 (1) 平和学の発祥の背景と発展の過程を説明できる。 (2) 平和への脅威を、複数の視点から説明できる。				
11. 試験・評価方法	期末試験 80% 課題提出状況 20%				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	(1) 講義の際、各回のねらいに対応した課題を提示します。課題の提出方法、提出期限については、初回講義時に指示します。 (2) 履修者には、講義中、質問への回答、情報提供、意見提示が期待されます。 (3) 予習用に配布する資料の読解は必須です。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	1809
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	国際ビジネスコミュニケーションⅣ			配当年次 受入学年
学問分野	番号	12	名 称	外国語学・言語学	
3. 担当教員名	ROUAULT, Gregory T.				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 21 日（水）～ 2023 年 1 月 25 日（水） 水曜日 10:45 ～ 12:15				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 (Intermediate English, CEFR B1, TOEIC 550+) 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	The purpose of this course is to introduce the principles of communication in business across cultures with the aim of developing an international style of communication which can be applied in external communications for negotiations and in internal communications during meetings for decision making and problem solving. 第1回 Overview and Introduction to Virtual Business Professional (VBP) Project 第2回 Developing intercultural skills 第3回 Managing meetings 第4回 Communicating effectively 第5回 Managing international meetings 第6回 Becoming a better listener 第7回 Negotiating across cultures 第8回 Building relationships & Making decisions (Video) & Unit Review 第9回 Knowledge review Mid-term Test & Writing emails 第10回 Managing conflict 第11回 Working in an international team 第12回 Presenting across cultures 第13回 Managing diversity and creativity 第14回 Profiling your intercultural competence 第15回 Influencing People, Giving Feedback & Teamwork (Video) & Review Students are expected to complete homework individually out of class and to conduct business information research and analysis to prepare for online communications in team meetings for the VBP project and in-class business simulation discussions.				
11. 試験・評価方法	Grade evaluations will be based on: active participation 15%, role plays and negotiations 15%, a knowledge review test 15%, the business simulation cases 15% and a business analysis report 20% & oral presentation 20% for the VBP project.				
12. 別途負担費用	"Communicating Across Cultures (w/CD)" B Dignen, Cambridge University Press, 2011. ISBN: 978-0-521-18198-3. englishbooks.jp (税抜 2,870 円)				
13. その他特記事項	To learn by doing, please participate actively in this English course to develop KSA – knowledge, skills, & attitude for effective crosscultural communications.				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1810

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	教育哲学		配当年次	2・3・4
			受入学年	2・3・4	
学問分野	番号	14	名 称	教育学	
3. 担当教員名	宮崎 康子				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 20 日（火）～ 2023 年 1 月 24 日（火） 火曜日 9：00 ～ 10：30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	2～3 人	9. 選考方法	書類審査		
10. 科目内容・ 授業計画	この授業では、「教育」および教育的経験によって形成されるわたしたち「人間」に関わる事象を、通念に囚われずに深く再考することを目的とし、主に3つの観点から資料を検討・考察し、それぞれの意見についてグループでの議論（LTD 話し合い学習法）を行い、その内容を表現（口頭および授業内外での論述）することに重きをおいている。 第1～3回…授業概要説明、LTD 話し合い学習法についての概説・実践 第4～6回…ヒトは教育によって人間になるのか 第7～10回…教育によってなにが可能となるのか 第11回～14回…人間と教育の関係をどう語るか 第15回…まとめの議論				
11. 試験・評価方法	3つのテーマそれぞれに対してのレポート3回、および授業後に提出を求めるシート内容で評価する。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項	オンラインへと変更になる場合には、この授業が毎回提示する資料の検討と議論（アクティブラーニング形式）を中心に行われるという性質上、授業内容に急遽大幅な変更を行う可能性があるため、そのことを了承の上で受講してください。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1813

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	民法総則		配当年次	1・2・3・4
			受入学年	2・3・4	
学問分野	番号	21	名称	法学	
3. 担当教員名	鄭 芙蓉				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 22 日（木）～ 2023 年 1 月 26 日（木） 木曜日 9：00 ～ 10：30				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	民法は、個人と個人との関係を規律する基本的な法です。民法は、財産に関する総則・物権・債権の 3 編と、家族に関する親族・相続の 2 編に大別できます。本授業は、具体的な事例を素材として、民法総則に関する解釈論を解説し、民法が内包する基本的な考え方を理解すること、身の回りのことを民法の問題として分析する習慣を身につけることを目標とします。 第 1 回 ガイダンス・民法総則とは何か 第 2 回 人（1）——権利能力・意思能力・行為能力 第 3 回 人（2）——制限行為能力制度 第 4 回 法人/物 第 5 回 法律行為・意思表示（1）——心理留保・虚偽表示 第 6 回 意思表示（2）——錯誤 第 7 回 意思表示（3）——詐欺・強迫 第 8 回 無効・取消し 第 9 回 条件・期限 第 10 回 代理（1）——総論 第 11 回 代理（2）——無権代理 第 12 回 代理（3）——表見代理 第 13 回 時効（1）——総論・取得時効 第 14 回 時効（2）——消滅時効 第 15 回 時効（3）——時効の完成猶予及び更新				
11. 試験・評価方法	・定期試験（60%）、レポート提出及び受講態度（40%）で評価します。				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	・毎回六法を持参してください。 ・授業前に教科書・参考書の該当箇所を予習し、授業後にレジュメや自分のノートを使って復習するのは望ましいです。余裕があれば、授業中に紹介した文献・判例を読むのが更に良いです。 ・毎回の授業につき、約 1 時間の授業外学習が必要です。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

1815

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島修道大学		開催 方法	■ 対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	集団力学		配当年次	1・2・3・4
			受入学年	2・3・4	
学問分野	番号	13	名称	心理学	
3. 担当教員名	横田 晋大				
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	後期前半		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 19 日（月）～ 2022 年 11 月 17 日（木） 月・木曜日 10：45 ～ 12：15				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（社会・集団・家族心理学、産業・組織心理学） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	集団力学（グループダイナミックス）とは、集団の特性や集団のメンバーの行動特性を規定している原理を科学的に研究する分野である 第1回 ガイダンス・集団とはなにか？ 第2回 集団を見る（集団認知・ステレオタイプ） 第3回 集団のルール（集団における規範の成り立ち） 第4回 集団としてまとまる（集団への同調） 第5回 集団の中の集団（多数派と少数派の心理学） 第6回 集団で決める（集団意思決定） 第7回 集団をまとめあげる（リーダーシップ） 第8回 集団で作り上げる（集団の生産性） 第9回 集団間での葛藤その1（差別・偏見の心理学） 第10回 集団間での葛藤その2（差別・偏見の社会心理学） 第11回 集団間での葛藤その3（差別・偏見の進化心理学） 第12回 集団間の違いその1（文化心理学） 第13回 集団間の違いその2（社会構築理論） 第14回 心と集団（マイクロ・マクロダイナミクス） 第15回 まとめ				
11. 試験・評価方法	成績評価の方法・基準 基本的に期末レポート 70%、受講態度を 30%として総合的に評価する。				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2005

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催 方法	□対面（ ）	
				■オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	NPO論			配当年次 1 年次以上
				受入学年 全学年	
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他
3. 担当教員名	金谷信子 ほか				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 14 日（木）～ 2022 年 7 月 28 日（木） 木曜日 13:05 ～ 14:35				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人		9. 選考方法	抽選	
10. 科目内容・ 授業計画	近年、地方の衰退が加速化し、政府主導による一律な開発志向政策の限界が明らかになるなか、持続可能な地域の発展のために市民社会（NPO/NGO）が果たす役割に期待が寄せられています。本講義では、国内外の様々な社会的課題やその背景を提示しながら、国際開発・スポーツ・情報・芸術・財務など専門分野の異なる教員・実践家がオムニバスで、市民社会（の発展過程や役割について）講義します。 第1回 NPOと現代社会～若者はなぜNPOを目指す？（金谷） 第2回 NPOの特質～組織・機能・資源（金谷） 第3回 市民社会の発展過程（金谷） 第4回 ボランティアの現代的意義（金谷） 第5回 NPOと財務（城多努） 第6回 NPOと情報（永山忍・岩本英久） 第7回 NPOとスポーツ（金谷・関口昌和） 第8回 NPOと芸術（中村圭） 第9回 「アフリカのNPO①：アフリカで国際NGOを調査する」（目黒紀夫） 第10回 「アフリカのNPO②：アフリカと日本でNPO活動をする」（目黒紀夫） 第11回 市民活動の現場から学ぶ ①（金谷・ゲスト） 第12回 市民活動の現場から学ぶ ②（金谷・ゲスト） 第13回 市民活動の現場から学ぶ ③（金谷・ゲスト） 第14回 グローバル化する市民社会（金谷） 第15回 まとめ（金谷）				
11. 試験・評価方法	小テスト・レポートの評価 ※各教員の評価を合計する				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	なし				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2006

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	中国文化論Ⅰ 中国の動物観		配当年次	2 年次
				受入学年	2～4 年
学問分野	番号	41	名 称	教養	
3. 担当教員名	飯島典子				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 11 日（月）～ 2022 年 7 月 25 日（月） 月曜日 16：25 ～ 17：55				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 （ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	特になし	9. 選考方法			
10. 科目内容・ 授業計画	1. ガイダンス 2. 獅子を巡る言説 3. 東西の文化に見る龍の相違（1） 5. 虎と 6. 馬と中国文化 7. 動物から見る『西遊記』（1） 8. 動物から見る『西遊記』（2） 9. 幻想文学『白蛇伝』（1） 10. 幻想文学『白蛇伝』（2） 11. 武術と動物 12. 「莊子」の生命観 13. アニメにみる動物・自然環境保護（1） 14. アニメにみる動物・自然環境保護（2） 15. まとめ（特別講義）				
11. 試験・評価方法	小論文試験				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	なし				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2009

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催 方法	□対面（ ）	
				□オンライン	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	平和と人権Ⅱ（現代世界と人権）			配当年次 1 年次
				受入学年 全学年	
	学問分野	番号	41	名 称	教養
3. 担当教員名	国際学部 教授 吉田 晴彦				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 06 日（木）～ 2023 年 01 月 26 日（木） 木曜日 13:05 ～ 14:35				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人（150 人）		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	〔概要〕 「平和」や「人権」が大切であるということは、誰もが意識しているはずであるにもかかわらず、実際にそうした言葉を聞くと、なにやら自分とは縁遠い世界のお話であるかのように思われがちである。「平和」や「人権」は理想に過ぎない、といった声もしばしば聞かれる。実際には、私たちの日々の生活とも密着した、きわめて身近な問題であるはずの「平和」や「人権」。本講義では、できるだけ身近な事例から、特に「人権」というキーワードにアプローチすることにした。 〔講義内容〕 1 ガイダンス 「平和」「人権」とは何か 2 現代社会と人権 ・「平和」や「人権」のイメージ ・「平和」や「人権」をめぐる常識・非常識(1)(2) ・兵器と人権(1)(2) ・国際社会における「平和」と「人権」(1)(2) ・平和や人権は誰が担うのか(1)(2) ・情報化時代の人権(1)(2) ・先端技術と人権(1)(2) 3 まとめ：現代社会における平和と人権				
11. 試験・評価方法	平常点（授業でのチャット及び口頭による発表：50 点）及び期末レポート（50 点）				
12. 別途負担費用	特になし。ただし、必要と感じた場合は自ら必要な資料を入手のこと。				
13. その他特記事項	Zoom によるオンライン参加が必須となる。パソコンによる参加を推奨。また、Word によるレポート提出（PDF 形式で提出）、WEBClass の利用が必須。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2011

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催 方法	□対面（ ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	広島の産業と技術			配当年次 1・2
				受入学年 全学年	
	学問分野	番号	41	名 称	教養（総合科学など）
3. 担当教員名	釘宮 章光				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 3 日（月）～ 2023 年 1 月 30 日（月） 月曜日 13 : 05 ～ 14 : 35				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） ② 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	・ イントロダクション（広島の産業と技術の概観） ・ 広島の伝統産業Ⅰ（針） ・ 広島の伝統産業Ⅱ（筆） ・ 広島の伝統産業Ⅲ（仏壇） ・ 広島の工業Ⅰ（ソフトウェア開発） ・ 広島の工業Ⅱ（ハイテクセキュリティシステム） ・ 広島の工業Ⅲ（機械工業） ・ 広島の農業・食品産業Ⅰ（精米技術・米の選別機） ・ 広島の農業・食品産業Ⅱ（缶詰） ・ 広島の農業・食品産業Ⅲ（スプラウト） ・ 広島の医療（医療機器・医療製品） ・ 広島の IT コンサルタント ・ 広島のマスコミ ・ 広島の観光施策 ・ 本学の取り組み・講義のまとめ （内容は変更することがある）				
11. 試験・評価方法	毎回レポートを課し、その内容と平常点により評価を行う				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項	なし				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2012

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催方法	☐ 対面（ ）			
				☐ オンライン（同時・録画・資料提示）			
				☐ その他（ ）			
	正式科目名 副題	地域再生論			配当年次	2 年次以上	
				受入学年	全学年		
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他		
3. 担当教員名	金谷信子 ほか						
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期			
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 3 日（月）～ 2023 年 1 月 30 日（月） 月曜日 14：45 ～ 16：15						
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数	10 人		9. 選考方法	抽選			
10. 科目内容・ 授業計画	地方消滅という危機感が高まるなか全国的に展開されている地方創生戦略の実態を通して、可能性と課題を理解する。また地域経済の活性化のためには何をどうすれば良いのか、現場の実態や取り組みを学ぶことを通して幅広い知識を身に付ける。 ①ガイダンス 地域再生の背景（金谷） ②地域再生は何をめざし誰が担うのか—ソーシャル・キャピタルという視点（金谷） ③「居住地」としての地域の価値を測る（山根） ④「観光地」としての地域の価値を測る：しまなみ海道観光需要調査（山根） ⑤「島おこし」の成功理由を考える①：カリスマ町長の戦略（目黒） ⑥「島おこし」の成功理由を考える②：聞き書きから浮かび上がる個性（目黒） ⑦「島おこし」の最前線：「大人の島留学」という新企画（目黒） ⑧広島県の地域力再生政策（金谷） ⑨外国人住民との共生（金谷） ⑩ワークショップ ⑪日本酒と地域文化の共進化関係を解明する（山根） ⑫観光振興が地域住民にもたらす影響：直島のアートプロジェクト（山根） ⑬観光開発が地域社会にもたらす影響：アフリカ各地の事例（目黒） ⑭地域再生は誰のため？ 地域振興政策の系譜 競争 vs. 再分配（金谷） ⑮まとめ（全員）						
11. 試験・評価方法	課題・レポートの評価、授業の参加態度						
12. 別途負担費用	なし						
13. その他特記事項	なし						
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可		
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可		

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2013

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島市立大学		開催 方法	□対面（ ）		
				□オンライン（同時・録画・資料提示）		
				□その他（ ）		
	正式科目名 副題	中国文化論Ⅱ 歴代中国文化と日本			配当年次	2 年次
				受入学年		
	学問分野	番号	41	名 称	教養	
3. 担当教員名	飯島典子					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 3 日（月）～ 2023 年 1 月 30 日（月） 月曜日 16：25 ～ 17：55					
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () 2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	特になし		9. 選考方法			
10. 科目内容・ 授業計画	1. ガイダンス 2. 始皇帝（1） 3. 始皇帝（2） 4. 隋唐文化（1） 5. 隋唐文化（2） 6. 宋代文化（1） 7. 元代文化 8. 明代文化（1） 9. 明代文化（2） 10. 清代文化（1） 11. 清代文化（2） 12. 民国時代の文化（1） 13. 民国時代の文化（2） 14. 現代中国文化 15. まとめ					
11. 試験・評価方法	小論文試験					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項	なし					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2102

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 経済学部		開催 方法	■対面（東千田キャンパス）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	原価計算論		配当年次	2 年次
			受入学年		
	学問分野	番号	24	名 称	商学・経営
3. 担当教員名	金 宰ウク				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 8 日（金）～2022 年 7 月 29 日（金） 金曜日 19:40～21:10				
7. 基礎知識の有無	「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	第 1 回 原価計算の意義と目的 第 2 回 材料費の計算 第 3 回 労務費の計算 第 4 回 経費の計算 第 5 回 個別原価計算 第 6 回 部門個別費と部門共通費 第 7 回 補助部門費の配賦 第 8 回 単純総合原価計算 第 9 回 仕損費および減損の処理 第 10 回 工程別総合原価計算 第 11 回 標準原価計算 第 12 回 原価差異の分析 第 13 回 直接原価計算 第 14 回 損益分岐点分析 第 15 回 まとめ				
11. 試験・評価方法	期末試験（80%）、課題（20%）				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2103

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 経済学部		開催方法	■対面（東千田キャンパス）		
	☐ オンライン（同時・録画・資料提示）					
	☐ その他（ ）					
	正式科目名 副題	ミクロ経済学			配当年次	2 年次
				受入学年		
	学問分野	番号	23	名称	経済学	
3. 担当教員名	増澤 拓也					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 11 日（月）～2022 年 8 月 1 日（月） ※7/21（木）授業日 月曜日 19:40～21:10					
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	第 1 回 導入 第 2 回 効用関数と無差別曲線 第 3 回 最適消費計画 第 4 回 所得効果と代替効果 第 5 回 生産集合 生産関数 費用関数 第 6 回 最適投入産出計画 第 7 回 エッジワースボックス 第 8 回 競争均衡と効率性 第 9 回 外部性 第 10 回 部分均衡分析の基礎 1 第 11 回 部分均衡分析の基礎 2 第 12 回 売り手独占市場 第 13 回 ゲーム理論の基礎 第 14 回 売り手寡占市場 1 第 15 回 売り手寡占市場 2					
11. 試験・評価方法	試験および授業内の小テスト					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項						
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			☒	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2106
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 経済学部		開催 方法	■対面（東千田キャンパス）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	マーケティング論 1			配当年次 2 年次
				受入学年	
	学問分野	番号	24	名 称	商学・経営
3. 担当教員名	徐 恩之				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 14 日（木）～2022 年 8 月 4 日（木） ※5/2(月)授業日 木曜日 19:40～21:10				
7. 基礎知識の有無	「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	マーケティングとは、企業の市場に対するアプローチを、理論化したものです。本講義では、マーケティング論という市場の概念を理解した上に、市場を分析する方法を始め、顧客を理解して販売していくプロセスにかかわる諸問題を、体系的に勉強していきます。本講義の目的は、次の2つです。1) 市場と企業組織の行動における概念及び理論に関する基礎的な知識を学ぶ、2) 学んだ基礎理論に基づき、現代の市場動向や企業行動に関する諸問題を分析する。 第1回 マーケティングの考え方 第2回 製品差別化 第3回 市場細分化 第4回 製品ライフサイクル 第5回 消費者行動論 第6回 新製品開発 第7回 製品とプロモーション 第8回 チャネルと価格 第9回 戦略的マーケティング 第10回 マーケティングの組織と資源 第11回 マーケティングにおける関係の理論 第12回 チャネル関係の構築 第13回 ビジネスマーケティング 第14回 国際マーケティング 第15回 サービスマーケティング				
11. 試験・評価方法	グループ発表：30％ 中間レポート：20％ 受講態度：10％ 期末テスト：40％				
12. 別途負担費用	テキスト名：高嶋克義・桑原秀史 『現代マーケティング論』有斐閣アルマ 2200 円				
13. その他特記事項	成績評価のため、1 回もしくは 2 回のグループ発表が、必須となります。発表グループは、1 回目の授業で決めます。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			☒	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2114

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催 方法	■対面（附属練習船・豊潮丸）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海 総合演習		配当年次	1 年次
			受入学年	1, 2, 3 年	
学問分野	番号	33	名 称	水産学	
3. 担当教員名	中口和光, 山口修平				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 8 月 9 日（火）～2022 年 8 月 12 日（金）				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」――（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	広島大学生物生産学部附属練習船「豊潮丸」による乗船実習を経験する中で、里海を育んできた瀬戸内海域の文化・漁業・水産の試験研究を視察するとともに、海洋調査を経験することにより、里海瀬戸内海への理解を深めることを目的とする。 8/ 9(火) : 13:00 練習船基地集合, 乗船・出港, 漁船操業の視察と船内講義, 釣り実習, 愛媛県今治市大三島宮浦沖錨泊 8/10(水) : 宮浦沖抜錨, 釣り実習, 宮浦港入港, 伯方塩業大三島工場見学, 大三島海事博物館見学, 解剖実習（三枚おろし）等 8/11(木) : 大三島宮浦港を出港, 大崎下島御手洗（潮待ちの港町）視察, 海洋観測, 船内講義（演習, 体験発表会） 8/12(金) : 広島県水産海洋技術センター見学, 船内清掃, 昼食, 修了式後下船(12:30 頃), 解散 * 寄港先の都合, 新型コロナウイルス感染症の状況等により, 予定の変更・中止が生じる場合がある。				
11. 試験・評価方法	受講態度 50 点, 発表とレポート 50 点で評価する。				
12. 別途負担費用	● 授業期間中の食事代*, シーツ洗濯代として 5,000 円程度を徴収します。 *2 日目昼食代は含まれません（上陸後各自での昼食となります）。 ● 集合解散場所の事前事後の交通費は自己負担となります。 ● 開催 10 日前以降のキャンセルについては乗船期間中の船内食事代全額を負担していただきます。 ● 実習にかかるその他経費についてはこちらで負担します。				

13. その他特記事項	● 広島大学の新型コロナウイルス感染防止対策レベルに応じ、乗船最大人数、乗船前 PCR 検査の必要性、まん延防止措置・緊急事態宣言発出の都道府県への移動履歴等の要件が異なります。実習 1 ヶ月前を目処に、対策レベルに応じた行動要件を通知します。対策レベルにかかわらず、以下の 3 点は厳守していただきます。 1. 演習開始直近 2 週間、毎日検温を行い体温が 37.5℃を超えていない。 2. 2 週間分の健康確認・行動記録表を作成し、演習に持参する。 3. 演習当日の体温が 37.5℃以下であること。 ● 集合日時：8/9（火）13：00（時間厳守）までに広島大学呉基地に集合してください。（昼食を済ませておいてください） 広島大学生物生産学部附属練習船基地 〒737-0029 広島県呉市宝町 7-4（電話 0823-23-4853） JR 広島駅から JR 呉駅約 35 分（快速）、JR 呉駅より徒歩約 15 分 練習船基地 位置図 https://toyoshio.hiroshima-u.ac.jp/kiti/kitimap.html ● 持参物：医療保険証、着替え、運動靴（甲板作業はスリッパ類不可）、雨具（傘）、作業着上下（長袖、長ズボン）、筆記用具、洗面具、タオル類等（長靴とカップは貸与します。船内での洗濯可）、釣り具（持っていれば） ● 傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入しておいてください。 ● やむなく欠席する場合は、開催 10 日前までに広島大学生物学系総括支援室（学士課程担当）まで申し出てください。直前にやむなく欠席・遅刻する場合も、必ず連絡してください。 ● 豊潮丸は 2020 年 7 月より全面禁煙です。船内での喫煙は認められません。 ● 本授業科目は、広島大学生物生産学部、広島大学他学部、他大学学生のために開講されるものです。 【問合せ・連絡先】 ● 広島大学生物学系総括支援室（学士課程担当） 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail：sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ● 広島大学生物生産学部附属練習船 豊潮丸 〒737-0029 広島県呉市宝町 7-4 TEL：0823-23-4853 E-mail：toyoshio@hiroshima-u.ac.jp		
	14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2116

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催 方法	■対面（附属練習船・豊潮丸）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	Blue Growth を目指したオーダーメイド 洋上演習		配当年次	4
			受入学年	4	
学問分野	番号	33	名 称	水産学	
3. 担当教員名	小池一彦・小原静夏				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 1 日（木）～2022 年 9 月 3 日（土）				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（持ち込みテーマを遂行できる能力・技術） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	8 人	9. 選考方法	持ち込みテーマ内容・実現性の審査		
10. 科目内容・ 授業計画	広島大学生物生産学部附属練習船・豊潮丸は、令和4年度より第三期教育関係共同利用拠点に認定され、学外に向け共同利用の機会を提供しています。新たに提供する本科目では、EUで採択され、日本も参画している「Blue Growth」（沿岸・海洋の保全を保ちつつ、新たな価値と雇用を生み出すイノベーション）に関連して、現地見学・観測・学生同士のディスカッションを通じて提案書を作成します。Blue Growthで重要視される5つのセクター（①バイオテクノロジー、②再生可能エネルギー・脱炭素社会、③漁業・養殖、④ツーリズム、⑤海洋資源）に関連し「持ち込みテーマ」（2人ペア×4テーマ）を募集します。 ◎基本的には水産・環境系の研究室に所属する、卒業論文研究を実施している学生（2人組）とします。文系・理系は問いません。 ◎演習の3ヶ月前を目処に、所属する大学の指導教員と相談の上、上記のセクターに合致するテーマをメールにてお知らせ下さい（担当；小池 kazkoike@hiroshima-u.ac.jp）。いかなるテーマにおいても持続的な開発目標（SDGs）や脱炭素社会への貢献を念頭に置いて下さい。 ※拠点経費から各テーマ、二万円までの消耗品を広島大学が負担します。 ◎予定航走ルート（呉→尾道→福山→尾道→呉）に沿って持ち込みテーマを実施します。③漁業・養殖、④ツーリズムに関しては相談の上、見学・体験場所を設定します。それ以外は観測点、使用する観測機器を綿密に打ち合わせの上実施します。 ● 想定されるスケジュール・内容（一例） 9月1日（午前）：広島県呉市の練習船基地に集合、出港、船内ブリーフィング （午後）：尾道に向け航行、その途中で採水（例；有用細菌・藻類の分離） 9月2日（午前）：尾道出港、福山市沖に停泊、漁業現場の見学・漁業者インタビュー （午後）：ツーリズム見学。他テーマは船内で測定・観測・採集 9月3日（午前）：福山出港、呉に向け（夕方に到着予定）。船内プレゼンテーション				
11. 試験・評価方法	受講態度 50 点，指導教員による評価 50 点				
12. 別途負担費用	約 6,000 円程度（9 月 1 日昼食～3 日昼食まで毎食分，シーツ洗濯代など） ※ 持ち込みテーマに関わる経費は 2 万円の消耗品代から支出するか自費 ※ 乗下船地への旅費は自己負担 ※ 開催 10 日前以降の履修の辞退の場合，食費該当分はお支払い頂きます。				

13. その他特記事項	● 事前に学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）に加入しておいてください。 ● 広島大学の新型コロナウイルス感染防止対策レベルに応じ、乗船最大人数、乗船前 PCR 検査の必要性、まん延防止措置・緊急事態宣言発出の都道府県への移動履歴等の要件が異なります。実習 1 ヶ月前を目処に、対策レベルに応じた行動要件を通知します。対策レベルにかかわらず、以下の 3 点は厳守していただきます。 1. 演習開始直近 2 週間、毎日検温を行い体温が 37.5℃を超えていない。 2. 2 週間分の健康確認・行動記録表を作成し、演習に持参する。 3. 演習当日の体温が 37.5℃以下であること。 ● 集合時間（別途お知らせします）を厳守してください。欠員があっても定刻に出港します。 ● 集合・解散場所：広島大学生物生産学部 附属練習船基地 〒737-0029 広島県呉市宝町 7-4（電話 0823-23-4853） JR 広島駅から JR 呉駅約 35 分（快速），JR 呉駅より徒歩約 15 分 練習船基地 位置図 https://toyoshio.hiroshima-u.ac.jp/kiti/kitimap.html ● 各自持参するもの 医療保険証，運動靴，船酔止薬，作業着（長袖，長ズボン，帽子），ノート PC（必須），筆記用具，洗面具，タオル，入浴用品，身の回り品等 ※ショートパンツ，ランニングシャツ，サンダル，スリッパ等では作業できません。 ※長靴，雨具は貸与します。 ※タオル，入浴用品は船内に備えていません。各自持参して下さい。 ● やむなく辞退する場合は，速やかに所属大学担当部署及び広島大学生物学系総括支援室に申し出て下さい。 ● 問い合わせ先：広島大学生物学系支援室（学士課程担当） 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail：sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ● 履修希望学生に対する連絡 履修決定者には担当者より履修願に記載されたメールアドレス宛に電子メールで連絡があります。履修希望届を提出した学生は，担当者のメールアドレス（kazkoike@hiroshima-u.ac.jp）からの電子メールを受信できるように設定し，電子メールを定期的に確認してください。また，メールアドレスを変更した場合は，速やかに所属大学担当部署と広島大学生物学系総括支援室に必ず連絡してください。 * 新型コロナウイルスの感染状況により，大幅な計画変更あるいは実習中止となる可能性があります。		
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2125
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 経済学部		開催 方法	■対面（東千田キャンパス）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	金融論		配当年次	2 年次
			受入学年		
	学問分野	番号	23	名 称	経済学
3. 担当教員名	千田 隆				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 3 日（月）～2023 年 2 月 6 日（月） ※1/12(木)授業日 月曜日 19:40～21:10				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ 経済学入門 ）				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	第 1 回 将来価値と複利計算、現在価値 第 2 回 内部収益率、債券の基礎 第 3 回 実質利子率と名目利子率 第 4 回 事象・確率・期待値、リスクの尺度 第 5 回 分散投資によるリスクの減少 第 6 回 債券価格、債券収益率 第 7 回 債券市場と利子率の決定、債券保有のリスクとは 第 8 回 中間試験 第 9 回 金利の危険構造、金利の期間構造 第 10 回 普通株式の特徴、株価指数 第 11 回 株式の評価 第 12 回 効率的市場仮説 第 13 回 出資契約における情報の問題 第 14 回 貸借契約における情報の問題 第 15 回 預金取扱機関：銀行と銀行経営				
11. 試験・評価方法	中間試験、期末試験				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2129

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 経済学部		開催 方法	■対面（東千田キャンパス）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	地域協力論		配当年次	2 年次
			受入学年		
	学問分野	番号	42	名 称	国際関係論
3. 担当教員名	小柏 葉子				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 10 月 7 日（金）～2023 年 2 月 3 日（金） 金曜日 18:00～19:30				
7. 基礎知識の有無	☒ 1. 「基礎知識を必要とする科目」（ 国際関係論 ） ☐ 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	第 1 回 イン트로ダクション 第 2 回 第 1 部：「地域」をめぐる理論と概念—リージョナリズム理論の興隆と展開 第 3 回 「地域」の諸相 第 4 回 「地域」をめぐる分析概念 第 5 回 テスト 第 6 回 第 2 部：アジア太平洋におけるリージョナリズム—国家による経済をめぐるリージョナリズム 第 7 回 国家による安全保障をめぐるリージョナリズム 第 8 回 地方自治体によるリージョナリズム 第 9 回 テスト 第 10 回 課題 第 11 回 ワークショップ 第 12 回 ワークショップ 第 13 回 プレゼンテーション 第 14 回 プレゼンテーション 第 15 回 レビュー				
11. 試験・評価方法	テスト、課題、ワークショップ				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			☒	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2401
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島文教大学 教育学部		開催方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	書写書道演習			配当年次 1 年
	受入学年				
学問分野	番号	14	名称	教育学	
3. 担当教員名	森 哲之				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 12 日（火）～2022 年 8 月 2 日（火） 火曜日 9：10～10：40				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	本演習では、書写を取り扱うと共に、書道の芸術や文化について幅広く触れながら、毛筆による実技を中心に、楷書・行書をはじめ、篆書・隸書・かなの書など様々な書体を学習する。 また、当該学科の教員免許に必要な科目であるため、国語科書写に関する指導法を学んでいく。書写の技能を習得し教育現場において必要な書写力を高めるとともに、書写の指導力を養う。あわせて、前後の接続を見渡し、幼児期の書写に関連する活動、小学校・中学校国語科書写の学習について、指導支援の方法を学ぶ。小学校学習指導要領では毛筆を使用する書写の指導は第3学年以上の各学年で行うこと、中学校学習指導要領では硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行うことになっている。特に、現場での課題とされる毛筆使用による書写指導ができ、硬筆書写能力の基礎につなげられるよう考慮していく。また、書写に関する教育の現状と課題を踏まえ、硬筆及び毛筆を使用した書写の学習について多角的に考察する。なお、漢字の成り立ち、文字や書の文化などについても理解を深めていく。 第1回～第15回の授業計画として、基本的には、毛筆による書の実技を中心に進めていく。				
11. 試験・評価方法	提出作品 作品制作の取り組み				
12. 別途負担費用	毛筆書写書道の用具（大筆、小筆2、墨液、半紙）（学校現場で活用できる質・状態のもの）、下敷き、新聞紙、雑巾等を準備ください。初回授業時に用具等の説明をしますので、購入等はその後でもよいです。用具がある方は第1回時に持参ください。				
13. その他特記事項	本学の教室には、硯、文鎮があり、利用できます。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2402

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島文教大学 人間科学部		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	認知症の理解 I			配当年次
				受入学年	
	学問分野	番号	25	名 称	社会学・社会福祉学
3. 担当教員名	坂井 晶子				
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期	
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 11 日（月）～2022 年 8 月 1 日（月） 月曜日 10：50 ～ 12：20				
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	1. 認知症を取り巻く状況 1：認知症の定義 2. 認知症を取り巻く状況 2：認知症の定義、原因・誘因、病態、用語の意味、 今までの政策、疾病・人権などの考え方の変遷 3. 認知症を取り巻く状況 3：認知症の現状、今後の推移予測 4. 認知症を取り巻く状況 4：認知症の定義、認知症に関する行政の方針と施 策、認知症ケアの理念 5. 認知症を取り巻く状況 5：認知症の定義、認知症に関する行政の方針と施策 6. 認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解 1：認知症の定義、認知症の行動・ 心理症状および治療 7. 認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解 2：認知症の行動・心理症状およ び治療 8. 認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解 3：認知症類似の状態 9. 認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解 4：若年性認知症 10. 認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解 5：認知症の診断基準、検査、治 療、予防 11. 認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解 6：認知症の診断基準、検査、治 療、予防 12. 家族への支援 1：認知症に対する家族の疾病の受容過程 13. 家族への支援 2：認知症の人を支える家族の介護力 14. 家族への支援 3：認知症の人を支える家族とのコミュニケーション 15. 家族への支援 4：家族の介護負担、レスパイト				
11. 試験・評価方法	授業への参加の度合い（20）、課題（30）、レポート（50） なお、レポートの評価にはコモンルーブリックを用いる。				
12. 別途負担費用	『最新介護福祉士養成講座 13 認知症の理解』 中央法規出版 2,200 円（税別）				
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			☒	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	☒

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2404

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島文教大学 人間科学部		開催方法	■対面（ 本学 ）																																						
				□オンライン（同時・録画・資料提示）																																						
				□その他（ ）																																						
	正式科目名 副題	経済学の基礎			配当年次	1 年																																				
				受入学年	制限なし																																					
	学問分野	番号	23	名称	経済学																																					
3. 担当教員名	松原 淳一																																									
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期																																						
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 4 月 13 日（水）～2022 年 8 月 3 日（水） 水曜日 14：05～15：35																																									
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（ ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」																																									
8. 募集人数	20 人		9. 選考方法	出願書類にて選考																																						
10. 科目内容・授業計画	科目内容 ・基礎知識は必要としない。 ・この授業のキーワードは「SDGs」「広島」「経済学」である。 授業計画は以下とおり。ただし、一部変更はありうる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>講義内容(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 回</td> <td rowspan="6">第 1 部 SDGsに広島県は対応できるのか</td> <td>イントロダクション、広島県は SDGs後進県</td> </tr> <tr> <td>2 回</td> <td>広島経済の歴史と特徴</td> </tr> <tr> <td>3 回</td> <td>広島県の温室効果ガス排出量が多い</td> </tr> <tr> <td>4 回</td> <td>広島県のジェンダーギャップは大きい</td> </tr> <tr> <td>5 回</td> <td>広島県の海の環境は改善したが、課題は少なくない</td> </tr> <tr> <td>6 回</td> <td>広島県の若者は県外へ流出している</td> </tr> <tr> <td>7 回</td> <td rowspan="4">第 2 部 国際平和文化都市を目指す</td> <td>国際平和文化都市になれない広島市の開発計画</td> </tr> <tr> <td>8 回</td> <td>被爆建物や広島城を活かせない広島</td> </tr> <tr> <td>9 回</td> <td>ライブや STU48 の経済効果は大きい</td> </tr> <tr> <td>10 回</td> <td>新スタジアムや中央図書館を活用しよう</td> </tr> <tr> <td>11 回</td> <td rowspan="3">第 3 部 海と山を守り活かす</td> <td>SDGsで考えた宮島の課題と宮島訪問税</td> </tr> <tr> <td>12 回</td> <td>瀬戸内の世界的な人気、瀬戸芸はなぜ成功したのか</td> </tr> <tr> <td>13 回</td> <td>中山間地域における農林業の課題と脱炭素ビジネスの可能性</td> </tr> <tr> <td>14 回</td> <td rowspan="2">まとめ</td> <td>SDGsから広島県の未来戦略を考えよう</td> </tr> <tr> <td>15 回</td> <td>まとめ</td> </tr> </tbody> </table>							講義内容(案)	1 回	第 1 部 SDGsに広島県は対応できるのか	イントロダクション、広島県は SDGs後進県	2 回	広島経済の歴史と特徴	3 回	広島県の温室効果ガス排出量が多い	4 回	広島県のジェンダーギャップは大きい	5 回	広島県の海の環境は改善したが、課題は少なくない	6 回	広島県の若者は県外へ流出している	7 回	第 2 部 国際平和文化都市を目指す	国際平和文化都市になれない広島市の開発計画	8 回	被爆建物や広島城を活かせない広島	9 回	ライブや STU48 の経済効果は大きい	10 回	新スタジアムや中央図書館を活用しよう	11 回	第 3 部 海と山を守り活かす	SDGsで考えた宮島の課題と宮島訪問税	12 回	瀬戸内の世界的な人気、瀬戸芸はなぜ成功したのか	13 回	中山間地域における農林業の課題と脱炭素ビジネスの可能性	14 回	まとめ	SDGsから広島県の未来戦略を考えよう	15 回	まとめ
		講義内容(案)																																								
1 回	第 1 部 SDGsに広島県は対応できるのか	イントロダクション、広島県は SDGs後進県																																								
2 回		広島経済の歴史と特徴																																								
3 回		広島県の温室効果ガス排出量が多い																																								
4 回		広島県のジェンダーギャップは大きい																																								
5 回		広島県の海の環境は改善したが、課題は少なくない																																								
6 回		広島県の若者は県外へ流出している																																								
7 回	第 2 部 国際平和文化都市を目指す	国際平和文化都市になれない広島市の開発計画																																								
8 回		被爆建物や広島城を活かせない広島																																								
9 回		ライブや STU48 の経済効果は大きい																																								
10 回		新スタジアムや中央図書館を活用しよう																																								
11 回	第 3 部 海と山を守り活かす	SDGsで考えた宮島の課題と宮島訪問税																																								
12 回		瀬戸内の世界的な人気、瀬戸芸はなぜ成功したのか																																								
13 回		中山間地域における農林業の課題と脱炭素ビジネスの可能性																																								
14 回	まとめ	SDGsから広島県の未来戦略を考えよう																																								
15 回		まとめ																																								
11. 試験・評価方法	試験：毎回、授業時間内で理解度確認のための小テストを行う。期末試験はなし。 評価方法：授業への参加度合いと毎回の小テスト結果																																									
12. 別途負担費用	2022 年 4 月発刊予定の以下の書籍をテキストとして使用する可能性がある。 松原淳一「SDGsと地域（仮称）」（南々社、1650 円程度、2022 年 4 月発刊予定）																																									
13. その他特記事項	なし																																									
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			㊦	否																																					
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			㊦	否																																					

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2405

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島文教大学 人間科学部		開催 方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	モチベーション心理学			配当年次 4 年次
	受入学年				
学問分野	番号	13	名 称	心理学	
3. 担当教員名	田村 進				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 30 日（金）～2023 年 2 月 10 日（金） 金曜日 10：50～12：20				
7. 基礎知識の有無	①「基礎知識を必要とする科目」（ 学習心理学等 ） 2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	10 人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	レポートの提出期限が迫ってきているのにやる気が出てこない…というようなケースがしばしばみられる。この例のように、やる気（動機づけ）を簡単に生み出したり高めたりできるわけではないことを私たちは日常的に体験しているが、なぜやる気が出ないのか、モチベーション・アップのためにはどのようなことをすればよいのかについては、経験の範囲内での理解にとどまっていることが多いように思える。この点を踏まえ、この授業では、動機づけの基本的なメカニズムやこれまでに提出されている動機づけに関する理論を概観することを通して、自分自身のやる気をコントロールするためにはどうすればよいか、また友人や家族がやる気を失っているときにはどのように支援すればよいかについて考えていく。 1. 動機づけとは 2. 動機づけの理論 3. やる気を引き出す方策 4. 目標設定技法				
11. 試験・評価方法	授業への参加の度合い（30%）、課題（30%）、レポート（40%）				
12. 別途負担費用	なし				
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2701

科目概要記入欄

1. 開設大学	呉工業高等専門学校		開催方法	■対面（ 本学 ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	福祉工学		配当年次 受入学年	専攻科 2 年
学問分野	番号	31	名 称	工学	
3. 担当教員名	岩本 英久（機械工学分野・教授），宮崎 崇文（建築学分野・助教）				
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 月 日（ ）～ 2023 年 月 日（ ） 曜日 : ~ :				
7. 基礎知識の有無	①「基礎知識を必要とする科目」（工学，商学，法学，文学，医学，教育学，看護学などいずれかの専門的な基礎知識・基礎技術を有する学生） 2.「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	第1週：ガイダンス，福祉工学とは 第2週：高齢者と福祉施設 第3～4週：障害者と要介護者を取り巻く環境，バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン 第5～6週：福祉機器の分類と規格，移動機器，コミュニケーション機器など福祉と技術（ジグソー学習によるペアラーニング） 第7週：認知症についての理解と関連制度 第8週：認知症サポーター講座 第9週：認知症のためのまちづくり提案#1 第10週：認知症のためのまちづくり提案#2 第11週：認知症のためのまちづくり提案#3 第12週：高齢者施設見学#1（感染対策のため変更になる可能性あり） 第13週：高齢者施設見学#2（感染対策のため変更になる可能性あり） 第14週：総まとめスピーチのための準備、試験準備 期末試験 第15週：答案返却・解答説明，総まとめスピーチ				
11. 試験・評価方法	1回の試験と調査発表内容およびワーク成果によって総合評価する。試験は100点満点の筆記試験，調査発表およびワーク成果の評価は発表資料と発表態度（質疑応答内容も含む）を100点満点で評価する。筆記試験，調査発表およびワーク成果の評価の比率は7:1:2である。 計算例：1回の調査発表（10%）を実施し，1回の試験（70%）とワーク成果（20%）により評価する。 最終評価点＝（（期末成績）×0.7＋（発表合計点数）×0.1＋（ワーク成果点数）×0.2）				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。